

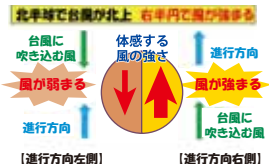
台風の進行方向右側にあたる地域はなぜ危険？

7月3日午前9時に今年の台風1号が発生しました。台風1号の発生としては統計開始以来2番目に遅い記録ですが、台風が発生が遅かった過去の事例をみても決してその後の台風の発生する個数も少ないとはいえず、穏やかな年になるとは限りません。台風の日への上陸は今年2.7個ですが、今年のように台風1号が7月に発生した年でも、4個上陸した年がありました。

さて、台風の進行方向右側にあたる地域が左側よりも危険であるというのご存じでしょうか。台風は空気の大きな渦のかたまりで、強い風が中心に向かって、時計の針とは反対方向に吹き込みます。台風の進行方向右側は、台風が進む速さに、台風に吹き込む風速が加わることで風

が強まります。反対に左側は、台風が進む速さと、台風に吹き込む風の速さが相殺されることで風が弱まります。

テレビや新聞などで台風進路図をご覧になるときは、お住まいの地域が進行方向のどちら側にあたるのか確認しておくと台風の備えがより確実になります。



日本気象協会  
若宮 秀樹

特別顧問	丹羽 晟 (元理事長、日本空港ビルデング顧問)	丸山 博 (元国土交通審議官)	本保 芳明 (初代観光庁長官)
理事長	大島 慎子 (筑波学院大学学長)	岡村 進 (元小田急トラベル社長)	横山 善太 (元日本航空副社長)
副理事長	須田 寛 (東海旅客鉄道相談役)	加納 隆 (元朝日新聞経済部記者)	
事務局長	杉 行夫 (理事)	事務局次長 堤 りり (理事)	
支部長	片田 文彦 (新宿)	魚住 隆彰 (北陸)	長尾 亜夫 (九州)
	須田 寛 (中部)	岩田 三郎 (神戸)	梅原 利之 (四国)

団体会員	株式会社アルビオン 医療法人社団同友会 一般財団法人NHKインターナショナル 株式会社せえいしや 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人らしのりサナセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社 群人会 株式会社サマサタパサジャパハリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友建設株式会社 セントラルリサーチシステムズ株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹舟社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社 中部 (東海・北陸・信州) 広域観光推進協議会 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東京急行電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会 中部支店 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社パロクジャパハリミテッド 広島電機株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナホールディングス株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社 横浜ビル建材株式会社
------	--

特定非営利活動法人 (NPO)  
**JAPAN NOW**  
観光情報協会

東京都新宿区西新宿 2-7-1  
小田急第一生命ビル5F 〒160-0023  
電話 03(5989)0902  
FAX 03(5989)0903  
E-mail info@japannow.org  
HP www.japannow.org/  
発行人: 大島 慎子 (NPO協理理事)  
編集長: 北村 嵩 (NPO協理理事)  
発行部数: 3,000部  
主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

**編集後記**  
週末の新聞に目を通して気が付いたことがあります。旅行会社の新聞広告で国内旅行商品が増えたことだ。従来、単価が高く収入額が大きい海外ツアーの募集が多く、新聞の広告掲載料を回収するには多人数を集まなければいけない国内旅行商品の広告は少なかった。▼ここ数年メディアを賑わす観光業界の話は「インバウンド」一色であった。本報も例外ではない。購買、民泊、クルーズ船寄港、政府目標2020年4,000万人に国内外客数を下回り、本年上期も、入国外客数1171万人に対して出国日本人客数791万人と伸び悩んでいる。不安傾向、欧州を中心としたテロや治安への不安など障害要因も多々、多くの旅行会社が収入の柱としていた海外旅行の低迷で、国内旅行に活路を見出そうとしているようだ。▼その国内旅行がこの数年一進一退を繰り返している。(旅行情報2015)インバウンドの急増で主要観光地の宿泊料金が高くなっている。消費税引き上げ、そして洋物品の上昇の影響、景気の先行きが不安があり控えている、など様々な要因が考えられるが、中国の景気減速に加えて、今中国のEU離脱の影響に対する不安などから、昨年もあまりベネフィット効果で潤っていた大英連合や団体に発生したMICEをはじめとした団体旅行需要も減りが見られるという。▼インバウンド需要から漏れている地方の旅館の経営問題を含めて今後は日本人の海外旅行や国内旅行にも関心を高めて行きたい。(北村)

NPO法人 **JAPAN NOW**  
108 Non-Profit Organization  
JAPAN NOW Tourism Information Association.  
観光情報協会

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月情報 第108号 発行日2016年 7月 28日

**Contents**

P1-大島理事長観光長官と対談、訪日外客数上半期1000万人突破/P2-新しいまちづくり都市観光、フェル・アル・セーカブルーからの便り/P3-みづりの旅を、観光をカンクウしなかった話、COLUMN「本のネーミング」/P4-城下町と観光・埼玉県志城、NEW SPOT富士世界遺産センター/P5-禁酒地区で連れられているジャック・ダニエル、万物の豊か/P6-関を通信、ミヤマー教団修行日記/P7-北ドイツ写真(5)写真展/P8-台風の進行方向右側にあたる地域はなぜ危険? 編集後記

URL: http://japannow.org/shimane-staytour\_inf020719/andrc\_shimane

**JN 協会大島理事長、観光庁長官田村氏と対談**  
観光産業の育成・強化へ

NPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」の大島慎子理事長が、昨年9月に観光庁長官に就任された田村明比古氏と対談し、茨城新聞に掲載されたので要約を報告する。  
対談の中で、田村長官は近年の外国人観光客数及びその旅行消費額の伸びを勘案の上、従来の2020年までに2千万人の受け入れ体制の整備と観光資源の磨き上げが重要である。大島理事長からは、地方の魅力PR発信する場合の注意点、インフラ整備など受け入れ体制に対する課題、地方空港への期待、などに対する質問がなされ、長官から適切な回答がなされた。最後に、長官から今後の展望について話があった。「観光先進国」実現に向けて3つの視点を柱に取り組み、一つは外国人観光客のみならず観光資源を磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも自分ですらよく伝える。二つ目は観光産業を日本の基幹産業にする。三つ目は外国人観光客がストレスを感じることはない旅行環境を整える。これら3つの柱の中で、観光が「最先端で進めたいかなってはない」のは、観光産業の育成・強化こそそのための制度の見直しである。実情に合った制度の見直しを進め、すべての旅行者が、世界一快適な滞在が出来る日本をつくらせていきたい。尚、詳細は本協会のホームページに掲載されているので参照されたい。

**上半期の訪日外客数は史上初 1,000万人突破**  
171万74千人(前期比28.2%増)6月単月比は198万6千人で6月として過去最高、伸び率は23.9%増

7月20日に発表されたJNTO(日本政府観光局)の速報値によると、2016年6月の訪日外客数推定値は、前年同期比23.9%増の198万6千人、上半期累計で初めて1,000万人を超え、1,171万4千人前年同期比28.2%で過去最高を記録した。これまでの上半期累計の過去最高は昨年の914万人である。平成28年熊本地震の影響で5月は韓国からの訪日旅行者が4.2%減少したが、6月は前年同期比38.1%増の34万7千人と大きくプラスに反転した。大きな要因は、前年6月はMERS(中東呼吸器症候群)の影響で旅行の再開による鈍化の反動増で、地震後休止していた九州航空旅行の再開や旅行会社によるプロモーションが功を奏した。下半期はインドネシアやマレーシアがラマダン明けで旅行シーズンが再開され、東アジアから多数のクルーズ船の寄港が予定された訪日外客数の動向へのプラス要因と期待されているが、英国のEU離脱の影響、ヨーロッパへの期待、などに対する質問がなされ、長官から適切な回答がなされた。最後に、長官から今後の展望について話があった。「観光先進国」実現に向けて3つの視点を柱に取り組み、一つは外国人観光客のみならず観光資源を磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも自分ですらよく伝える。二つ目は観光産業を日本の基幹産業にする。三つ目は外国人観光客がストレスを感じることはない旅行環境を整える。これら3つの柱の中で、観光が「最先端で進めたいかなってはない」のは、観光産業の育成・強化こそそのための制度の見直しである。実情に合った制度の見直しを進め、すべての旅行者が、世界一快適な滞在が出来る日本をつくらせていきたい。尚、詳細は本協会のホームページに掲載されているので参照されたい。

JR東海相談役 須田 寛

「都市(まち)観光」とは都市(まち)そのものもつ特色、そこに集積された独自の文化とくらし、まちとそのいとなみにふれるとともに観光客と市民との交流を通じてまちづくりの原点、都市の文化にふれる観光をいう。

前回に引き続き「都市観光」の事例を紹介する。

(事例4) 鉱山都市の場合

一 鉱山のまちから産業観光都市へ

(秋田県小坂町)

日本四大銅山のひとつを

もつ鉱山町として発展、昭和初期の最盛期には都市な

みの3万人に及ぶ人口を擁した。鉱山の廃坑によってまちは活気を失い人口も減少の一途を辿った。しかし鉱山は採掘、製錬、輸送のための膨大な産業施設を遺産として残したのをこれを活用して、産業観光都市とすべく新しいまちづくりに努めた。まず目玉施設を再興した。従業員のための集合娯楽施設としてつくられた「康樂館」(木造劇場としては国内最大)を交流の場として活用、これを中心に旧鉱山本建屋等様々な往年の施設を改造して、昔のまちなみを復元そのなかに 公園、文化施設、展示施設を整備「産業博物館ゾーン」とした。

第二に旧鉱山の大規模な製錬工場を改造活用して、これを産業資源リサイクル工場群とし、そこに多くの見学者を迎えることとした。身近な携帯電話から希少金属(金等)が抽出される様子を見て多くの人々にリサイクルの重要性を訴えることができた。

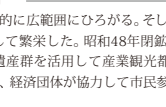
第三に鉱産物の搬出のための鉄道遺産を活かして「小坂レールパーク」を開発した。旧小坂駅舎、広い駅構内に様々な車両を展示、構内で乗車運転体験もできることが評判となり全国から大勢の人が集まる大観光スポット

が実現した。このようにまちに残された様々な産業遺産を地域の観光資源として再整備し、その三点を中心にひとつのストーリーでまとめあげ、まち全体を産業観光都市とすることに成功したのである。

(愛媛県新居浜市)

小坂と同じ江戸時代開坑の別子鉱山は山頂部の銅山とそれに伴う選鉱施設、鉱石を搬出する鉱山鉄道、離島の四万五千人の製錬所まで、立体的に広範囲にひろがる。そして製錬所は大産業都市として繁栄した。昭和48年閉坑によって残されたこの産業遺産群を活用して産業観光都市として再生すべく、企業、経済団体が協力して市民参加のまちづくりに努めた。

鉱山企業の手で記念館資料館がまず作られ、これを中心に市の協力によって旧鉱山本跡に「マイントピア別子」として総合観光施設ができた。さらに商工会議所に市民有志による「銅鑛物語新居浜市民会議」が結成され様々なボランティア団体も加わり、新居浜市の産業観光都市づくりの市をあげての推進母体となった。そして市民参加による産業観光まちづくりへと発展した。産業資料館、博物館、造幣工場、工場遺構を公開、情報発信するとともに「銅の道ウォーキング」等のイベントを開催し知名度を高めた。標高千メートルに近い上部坑山から山麓までの一帯、港湾、さらに海上に至る立体的な観光ルートも整備された。さらに新居浜市の功績は国、観光経済団体の共働のもとに「近代化遺産保存活用全国フォーラム」を開催したところである。各地の観光関係者、自治体の人々が集まり「産業観光」推進の研究会と現地視察の機会を再三設け、これをきっかけに全国各地に「産業観光」の輪をひろげることに成功した。筆者が「産業観光」「都市観光」を提唱するようになったのも、この新居浜フォーラムに出席したことがその大きな動機となったのである。



元日本航空副社長 横山 善夫

ハンブルグで写真展を開催致しました。

日本のカメラ会社のドイツ本部4社(ミルタ、オリンパス、アサヒペンタックス、コニカ)とハンブルグ州政府観光局、JETROと共催で主として地元(の)日本企業(の)社員対象に募集をしたものです。優秀作品選考に当り各代表7名が審査委員、日本人4名、ドイツ人3名でありました。「旅情」という演題が馴染み易いことも有り、いろいろな種類の作品を評価するのは予想以上に難航致しました。特に日本人とドイツ人の「美的感覚」と云うか「美意識」の違いにより評価が離れず「優秀」は「駅頭での列車対向」の別れの風景」であり、次席は「ハンブルグ港での鋼材積み込みクレーンの幾何学的構図」となりました。旅は人間だけが嗜好は訳ではなく、船の貨物も(擬似的に)！同様に扱うドイツの見識には(皮肉も含め)感心したところではありました。



「日本人とドイツ人」(善夫は右向)  
高階秀爾 筑摩書房

最近東京大学西洋美術史の高階秀爾教授(現倉敷大原美術館長)の「日本人に出て美しさとは何か」と云ふ本に出会うことなどなりポイントが進むことになりました。

西欧世界においては古代ギリシャ以来「美」はある明確な秩序を持ったもののなかに表現されるといふ考え方、その秩序とは左右相称性であったり、部分

と全体との比例関係であったり、或いは基本的な幾何学形態との類似性など、客観的原理に基づく秩序が「美」を生み出すとしている。このような実体物としての「美」の捉え方は日本人には左程強くない。日本人は昔から何が「美」であるかということより、どの様な場合に「美」が生まれるかということに感性を働かせてきたのではないかと。このことは「実体の美」に対して「状況の美」を区別して良いのかも知れない。「古池や蛙飛び込む水の音」芭蕉は一瞬の静寂なかに新しい美を見出した。ここには何の実体の美は無いのであります。「駅頭の別れ」と「港のクレーン」、状況の美と実体の美の典型的例示とも理解できそうです。

料理教室が日本の奥様方が使用した後、ドイツ人連達の料理教室が有り、日本の奥様方の使用後の掃除が批判されたことが有り不思議に思いました。水屋の清掃は、日本人は通常水槽周辺の台の上等に水が飛び散らかっているのを拭き取ります。船の水筒は清潔感も有りそのまゝにして置くのが昔からの通例。この水筒の中の水滴を拭き取らないことをドイツ人に指摘されたのです。飛行機の化粧室に昔から「次のお客様のために洗面を清掃してください」との表示が有ります。水筒の中の水滴まで拭き取るとを理解しているお客様は(小生も含め)少なかったのではないかと思っています。

この美的感覚の差は小さいと思いますが前編で紹介した「ドイツ窓辺の花」は実体美の典型、非の打ちどころの「美」にドイツは安心評価しているのだと思えます。音楽の「美」はどうでしょう。次にお話したいと思っています。

※1: 水筒 = 流し台のシンク

観光立国セミナー 会場: 海事センター

「満州を旅した日本人」 高 媛 氏  
駒沢大学グローバルメディアスタディーズ学部  
第123回(7月11日) 准教授 博士

明治時代末期は女性が一人旅をするのは難しく、日帰りの旅行が中心であった。1906年日露戦争終結の翌年初めて満州修学旅行団が実施され、合計約4,000名が渡満したことが中心であった。この頃満鉄は盛んに、与謝野晶子、吉屋信子、金子しげりなど女性文化人を満州に招待し、満州報告の記事を書いてもらったが、時には逆効果になったこともあった。林芙美子のように満鉄の招待ではなく、「放浪記」の印税で、4人も満州に一人旅をする女性も現れた。講演の、プロアとの質疑応答があった。

1907年に満鉄が運用開始してから各地にヤマトホテルが設立され、割引切符も発売されて観光インフラが整備された。1916~18年に東京女子師範学校の満鮮見学旅行が実施され女子の満州旅行が始まった。1918年には観光

客誘致のため東京丸の内内の満鉄東京支社内に「鮮満案内所」が開設された。又、学生、教員割引制度も導入され、1923年には愛媛女子師範学校が満鮮修学旅行を実施した。途中、1937年として成された大阪商船と南満州鉄道のPR映画が上映された。何故か両フィルムとも主人公は洋装と和装の女性で、安全な旅を演出している。

この頃満鉄は盛んに、与謝野晶子、吉屋信子、金子しげりなど女性文化人を満州に招待し、満州報告の記事を書いてもらったが、時には逆効果になったこともあった。林芙美子のように満鉄の招待ではなく、「放浪記」の印税で、4人も満州に一人旅をする女性も現れた。講演の、プロアとの質疑応答があった。

オーストリア ツェル・アム・ゼー / カプルーンからの便り

インスブルック市観光局 / ザルツブルク市観光局  
日本事務所代表 モラス 彰子

青い空、美しい湖と氷河のハーモニーが見事なツェル・アム・ゼーの夏が始まっている。ロープウェイで2,000mのシュミットンヘに上り山上のパノラマコースを散策。また、夏でも山頂を白銀に覆われた3,203mのキッシュトールホルンにも氷河ロープウェイで上ることが出来ます。夏スキーでも健脚向きの山歩きコースが沢山あります。ツェル・アム・ゼーは太陽が沈んでもすぐには真・暗にはなりません。ツェル湖の湖畔では10月13日まで火曜、木曜と日曜日、仕大な

「水と光と音楽のレーザーショー」をお楽しみいただけます。ショーにはテーマがあり、火曜日: 経験、水曜日: 幸、日曜日: クラシックと内容が変わり楽しむことが出来ます。入場は無料です。また、カプルーン城ではザルツブルク州の衣装に身を包んだ男女がダンスや歌を披露します。11世紀に創設されたカプルーン城のショーは11世紀にタイムスリップすることが出来ます。ザルツブルクから列車や車で1時間半ほどのところにあるオーストリア有数のリゾート地ツェル・アム・ゼー。日本にはなじみの薄い街ですが感動の旅が楽しめます。

8月の観光情報

- 黒石よれ (青森県黒石市) 8月15日~8月16日
- 西馬音内祭り (秋田県雄勝郡羽後町) 8月16日~8月19日
- 四阿阿波おどり (徳島県徳島市) 8月15日~16日
- 吉田の火祭り (山梨県富士吉田市) 8月26日~27日
- 郡上おどり・徹夜おどり (岐阜県郡上市) 8月12日~16日
- 西馬音内盆踊り (秋田県雄勝郡羽後町) 8月16日~8月18日
- 青竹ちようちんまつり (山形県高畠町) 8月15日~16日

## 霞が関通信



福島県・郡山市長  
しながわ まさよし  
品川 萬里氏

福島県白河市出身。福島県立磐城高校を経て67年東大法学部卒。郵政省(現総務省)入省、貯金局長、放送送付局長、郵政審議官(国際担当)を経て2000年に退官。13年4月に郡山市長に当選し現在1期目。

■福島県への観光が一番心配なのは放射能の影響ですが、どのような状態でしたか？

前の市長の時代に「東日本大震災 郡山市の記録」を出して郡山の現状を125ページにわたって記録しています。市民の方はみんな元気に生活しています。強朝(レジリエント)な都市づくりをしています。4月14、15日には郡山で「レジリエント・コミュニティ国際シンポジウム」を開きました。私は安心、安全とは言いません。データが出ていますからそれに即してそれぞれの人が判断してきていただきたい。放射能について基礎知識くらいは学んできていただきたいと思います。そうすれば今の郡山については全く心配ありませんよ。

■郡山への観光客はだいぶ増えていると聞いていますが、

郡山への観光客の入込数は2010年度は400万人でした。それが2011年3月の東北大震災で半分近くは11年度は半分の211万人に落ちました。それが我々の観光キャンペーンなどの効果が出て1年度は震災前の90%の362万人まで増えました。あと一步の状態です。郡山は福島のみならずともいわれ磐梯熱海温泉など温泉地があります。「ピクニックレックふくしま」「カルチャーパーク」などの観光地もあり、これから観光客が増えたいことを期待しています。今や中国人の爆買が話題になってますが、外国人の観光客は東京などに比べると少ないですね。インバウンド(外国からの観光客)を増やしていきたいと思えます。

■観光についてのいろいろな考えを持っているようですが

日本の観光は1泊2日が多いですね。もっと長期に滞在していただきたいと思えます。外国人のイサベル・バードやパーシバル・ローエルなどが明治時代に日本に来て良さを知って帰りました。貝塚を見つけたモースも科学的なツールズをしました。こうした人たちは日本に長期滞在して良さを発見しました。たくさんの方が来ることも必要ですが、観光の質を上げることも必要だと思います。日本人が気が付いていない素晴らしい点を観光で見つけてほしいですね。和食ブームなどは外国人が良さを見つけてましたね。

■ところで中央の役人をして郡山の市長をするその違いは何ですか？

中央の行政は理論で済みますが、地方は実践ですね。

医学でいえば中央は基礎医学で地方は臨床医学です。地

道の違いによってやるのが市長です。

経済ジャーナリスト 阿部 和義

## ミャンマー散骨旅行記(1)

観光学博士 寺前秀一

九十六歳の父親がイラワジ川散骨を希望して立ち上げた。子供の頃モルモンライターやシアン族の話を聞かされたことを思い出す。父の手記「両防」の前半の中国戦線は勝者戦、余給る人記述に対しミャンマーは死者を覚悟していた。現に日本人死亡者の八割はサイパン陥落後であるから戦争指導者の責任である。中国戦線離れたのは陸大入学のためだが、ミャンマーは陸大教官からの赴任、大きな違いだ。1944年10月、台北、サイゴンに各一泊してシンガポールに到着。護衛のない飛行機での移動だから敵に見つかれば即死。それで潜水艦の餌食になる輸送船よりはるかに安全だった。ラングーンからの迎えのトラックに乗ってジャングルに隠れて夜間運行を繰り返して、爆撃にあいながらマンダレーを通過して56師団に急行したと記述。16倍の優勢な敵との交戦が始まった。

散骨はマンダレーに決めた。軍司令部で辻政信参謀から歓待を受けたと記述もあつた。雲南省にたどり着く過程で、米英からの膨大な軍需物資を輸送する援蒋ルートに夜間走行し、完全舗装の道路に驚いたようだ。

英印軍が1945年3月にマンダレーを解放した。日本軍は敗走中マンダレーを陥落させた。父は参謀長が無防都市宣言をしてもよかったと記述している。戦争も状況で変化するから結果論だが、世界遺産ピランを美化するならマンダレーは反省すべきである。

記憶に残ることを記述。一つは日本兵の戦場忌避者、勇敢な日本兵もいればむしろ日本兵も多かったようだ。二つ目は虐殺事件。某少尉が夜陰に乘じて土着民部落を包囲し一人残らず殺害。報告を受けた父も驚愕したようだ。少尉は防主になって甲に専心すると述べたようだ。この事件は戦後情報では英印軍の残虐行為とされた。三つめはナンパッカの戦。参謀長自身が敵の急襲にあい驚いて父親の大隊に無謀な夜襲強行命令をかけた。参謀長自らの退却のため多くの部下を死なせた。防衛資料では参謀長の手柄になっているが、大勢の兵士は無駄死しており父親は憤慨して記述。いまでも防衛庁作成戦史を頭から信じている国粋思想の人が見受けられるが、そんなに単純なものではない。



マンダレーの王宮跡

## 人づくりの旅を

アクティブビジネス(株)代表取締役 J N協会理事  
大西 啓義

小生は人づくりをライフワークに、真のリーダー育成を念願していますが、そこに旅や歴史・人物研究なども活用しています。昨年は「旅は人生一旅を楽しむ旅に学ぶ」を35冊目の著書としてまとめた。

中学2年の時、神戸より一人旅で九州一周をしました。時刻表をめぐり、行く先々の特徴を学び(図書館など活用)、歴史や偉人の足跡をたどりました。そこでの出会いや学びが小生の「旅」の出発点であります。

今、人づくりの会を東京駅近辺で30数年毎月催しており、年4日程は特別会として関東や地方旅行を催しています。その結果を今にご生かすのかを話し合う、実践するのです。また、メンバーが独自企画し、担当することで学びや成長があり、「美学」ともなっています。

「リーダーのあり方」や「危機管理」などの事例研究の場がほほあります。自分選で企画し旅すること喜びも倍増、また「可愛い子には旅をさせよ」です。

旅先でご案内頂くボランティアの方々にも素晴らしい方が多く、感動が充ちてきます。

海外へも企画し出かける時、そのための語学や文化・歴史・地理研究は真剣そのものとなり、自分選のものとなってきます。相手方の提言もなぜか地域おこしのきっかけにもつながります。旅と「人起こし」・「地域起こし」を連動させ、日本再生をさせようではありませんか。

## COLUMN 本のネーミング

偶々ある会の2次会で、精神科医で作家の加賀乙彦さんと隣り合わせになった。「甲・乙・丙」のうち甲彦ならともかく、なぜ乙彦と、敢えてイメージ的に劣るペンネームをつけたのだろうとかながね不思議に思っていた。そこで不眠にこの当人にその謂れを尋ねてみた。すると突然顔を真っ赤にして、「あなたは僕の本を読んでいませんわ」とえらい剣幕で怒り出したのである。傍でやり取りを聞いていた小中嶋太郎さんが「近藤さんか加賀さんを怒らせた」と言いふらし面白おかしく噂が広がった。その加賀さんの著書にはすべて前名の由縁が書かれているという。だが、その後読んでみた「宣告」では、乙彦の名の謂れまでは分らなかった。

ご嫌嫌直ったところで、大作家を目前に恐れ多くもお互いの作品を名乗りあう光栄なる成り行きとなった。加賀さんは、拙著「新・現代海外武者修行のすめ」停年オヤジの海外武者修行・「南太平洋の剛腕投手」について「まあ好いと思います。でもできればもう少し短い方が良いでしょう」と仰った。

## 観光をカンコウしなかった話

筑波学院大学教授 J N協会理事  
望月 義人

ちょうど4半世紀前だったのか、と感慨すら抱く思いがある。平成に入って間もなくのころ、運輸省(現国土交通省)の記者クラブ「交通研究会」詰めの記者として、毎日、取材と原稿書きに追われていた。

カバーする範囲は、鉄道、航空、海運、自動車交通、旅行業、宿泊業…と多岐に渡り、運輸省(現国土交通省)のごとく飛び回っていた。そんな取材活動の中で、記者としての私の関心の目が向かっていったのは、当時の運輸省観光局であった。このたびは、他者から観光を記事化するとは少なく、言わば記者の「主戦場」ではなかった。

それがどうだ。国土交通省となってから「観光立国」宣言がされ、観光局は観光庁となった。以後は、ご承知のように、この国での観光の隆盛ぶりである。記者時代に勤務した東海地方でよく耳にした言葉に「勘考(かんこう)がある。ほぼ「よく考える」という意味で使われていたと記憶する。

今、観光に関する本を著し、大学で観光関連の科目を講ずる自分が、かつて「観光を勘考」しなかった見通しの甘さにただただ恥じ入るばかりである。

「勘考」すれば、現在、観光が及ぼす経済波及効果はGDPだけではなく、雇用面などで他産業を圧するものがある。JAPAN NOW 観光情報協会発足時からウオッチしてきた私の目には、協会の果たす役割が、ますます大きく映っている。このたびは、その一翼に加えていただけることになり、喜びを噛みしめている。

「私の本で一番ヒットしたのは「宣告」です。どうですか？」と同意を求めように語り、他にもいくつか自著の書名を挙げられた。「高山右近」「雲の都」等々、確かに短くて憶えやすい。そのうえで、漱石だってそうでしょうとも言われた。確かに夏目漱石の名著「こころ」「門」「草枕」「三四郎」や、森鴎外の「雁」「高瀬舟」「山椒大夫」など、みんなどちらかと言うと書名は簡潔で短い。では漱石の短い書名を称賛した加賀さんは、「吾輩は猫である」についてはどう思っているのだろうか。

ごく最近知人の軍事評論家、小川和久さんが「戦争が大嫌いな人のための正しく学ぶ安保法制」なる長い書名の作品を出版された。果たして加賀さんはこれをどう思われるだろうか。

エッセイ 近藤 典夫

## 城下町と観光 50 (埼玉県 忍城)

### 難攻不落の浮き城

#### 三層の天守閣を復元

ジャーナリスト  
長宗我部 友親



忍城は、利根川水系に源を発する忍川(おしがわ)流域の低地帯に囲まれる格好で、沼や自然の藻とできていて、本丸と二の丸の間などが橋でつながれていて、忍の浮き城とも、別名がつけられていた。城はくわい城といわれ、上杉謙信の二度の攻撃にも耐えている。

忍城は延徳2年(1491年)、土豪の成田親泰(なりたちかやす)によって築城されたと伝えられている。豊臣秀吉は、天正18年(1590年)、天下統一の詰めとして北条氏政を決定した。このときの忍城の当主は成田氏長(なりたちなが)で、北条氏側についていた。秀吉に忍城攻めを命じられたのは石田三成であった。三成は2万3千の大軍を構えて忍城に對した。しかし、氏長は小田原城の北条氏のもとに籠城していたため、かしら、氏長は氏長の妻と3千ほどの兵士ら残留組しなかつた。にもかかわらず、忍城はなかなか落ちなかつた。攻めあぐねた三成は28キロも及ぶ堤防を築いて、利根川の水を引き入れて水攻めも取った。だが、それでも忍城は落城せず、秀吉の小田原攻めで、唯一落

城しなかつた城として知られる。結局、秀吉の小田原攻めで、北条氏が滅び、徳川家康の関東入りが決まった。それに伴い、三河以来の譜代である松平家康(まつだいらゑしただ)が、成田氏に代わって、忍城主として入り、忍藩を立藩した。

家忠は文禄元年(1592年)に、下総国土佐に転封となって、代わって家康の4男の松平忠吉(まつだいらたけよし)が忍城に入った。だが、忠吉は関ヶ原の戦いで功によって尾張52万石の城主となった。このためこれ以降、しばらく、忍藩は天領、あるいは旗本領となり、忍城には城番が置かれることとなった。その後、寛永10年(1633年)には、老中で、知恵伊豆といわれた松平伊豆守信綱が入り、忍藩が復活、以降、阿部忠秋(あべただあき)など幕府の要人が忍藩を治めている。行田市はかつて忍町と呼ばれていて、足袋の製造工場が多い、もともと忍藩の下級武士の一家や、農民が内職として足袋を作り、それが発展した。昭和63年には忍城の三層の天守閣が復元された。

四國の有力大名だった長宗我部家の17代目に当たる友親氏が、2008年3月から8年半にわたって建設してくれた「城下町と観光」は、今が最終年となりました。かつて日本には2万をこえる城があったとされ、現在はかつて日本城郭協会によって100名城が認定され、歴史好きな人たちが足を運んでいる。長宗我部友親氏は、かつての城下町だった高野原浦戸郷をほじも、全国各地を旅してその歴史として城下町を訪れ、地域観光の振興に向けて啓蒙活動を続けてきた。友親氏に詳しい、この町でうごきました、と申し上げるとともに、又紙面でお目にかかれる日を期待している次節である。

## アメリカごほれ話 44 「禁酒地区で造られているジャック・ダニエル」



元 JTB 取締役 北村 高

ジャック・ダニエルといえばアメリカを代表するバーボン・ウィスキーの銘柄である。「スクエアシューター」と呼ばれる四角い樽と滑らかな味に特色がある。しかし正確に言うところ、バーボン・ウィスキーではなく、テネシー・ウィスキーである。バーボン・ウィスキーとはケンタッキー州のバーボン郡で造られたウィスキーを指し、トウモロコシを使用し、内側を焦がした樽で熟成させるものである。

ジャック・ダニエルは原料や蒸留法は同じだが、サウカエデの木皮で濾過させて熟成させるのが特徴である。そもそもアメリカにおけるウィスキーの製造は、アイルランドやスコットランドからの移民がペンシルヴァニアなど東部地区でライ麦を使用して生産していた。しかし独立直後の新政府が財政困難で、増税を増やすためにウィスキーに過重な税金を課した。そのため酒造業者が謀反を起こし、政府に鎮圧されるという事件が起った。この事件を契機に酒造家たちは、高い酒税を逃れるために、中央政府の目が届きにくい、当時のアメリカの西部フロントニアであるケンタッキーやテネシーで蒸留酒を造るようになり、ライ麦の代わりにこの地方でよく獲れるトウモロコシを使用するようになったのである。

ジャック・ニュートン・ダニエルは1846年にテネシーで生まれた。6歳で家出して農家に居候し、ハウスボーンなどを造りながら金を貯め、蒸留酒製造所を買取った。南北戦争勃発前、若いジャックは酒税を馬車に積んで近隣の町まで運び、夜中に収税史の目を避けて酒場、レストラン、食料品店などに販売した。戦争が終結した後に、幼い頃から夢であったテネシー州のリッチバーグという小さな村に蒸留酒製造所を開業した。村のケブスプリングという地域で、鉄分を含まない泉の湧き水がおいしいウィスキー造りに欠かせないと考えたからである。しばらくの間は彼のビジネスも順調に推移したが、やがて世の中では禁酒運動が盛んになった。1920年、正式に連邦政府がアルコール飲料の醸造、販売を禁止した。しかしそれ以前から、南部諸州の半分以上で禁酒法が制定されて販売が難しくなってきた。禁酒法が施行されていた時代は、叔父ジャックの跡を継いだレイ・モートは、馬具や金物の販売をしながら過ごした。解禁後に醸造を再開し、現在まで昔ながらの製法を継承し、今では南部を代表するシンボルの一つになっている。

ジャック・ダニエルの広告は今でもリッチバーグの白黒写真を背景に使っているが、この人口1,000人余りの小村は禁酒法が過去の遺物になった現在でも「ドライカウンティン」(禁酒地域)である。



ジャック・ニュートン・ダニエル

## 万物の霊長

小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

またまたバングラデシュで無差別テロが発生した。邦人7人を含めて多数の犠牲者がでたようだが、まことに悔しい限りという外はない。真偽は分らないが犠牲者の中には刃物で首を切り落とされた人もいて、極めて残虐な犯行であるようだ。こういうテロに限らず残虐な事件が起きた場合に「こんな酷い行為は人間のすることではない」「こんなことをするのは人間じゃない」というコメントをしばしばメディアで見聞するが、私はいつも違和感を覚えるのだ。

むしろ人間だからこそこういう行為をするのではなからうか。人間以外の動物は野蠻な肉食獣といえども捕食の為に他の動物を襲うことはあっても、それ以外の欲望のために襲うというは無いと言ってよい。ましてや同種に属するもの同士で殺し合う様なことは余程の事情がなければ無いだろう。一部の種が人類学によると、このような属性は人類という「種」が出現した始期から備わっているものなのではないか。

元人類というのはこの地球上の動物の中では弱者であり、生存のための絶対条件である捕食能力に於いて極めて劣っている。例えば「走る」という能力の点でオオカミなどには到底及ばない。四本足と二本足の差だというなら、ダチョウは二本足でも非常に速く走ることができる。しかも速さのみならず時間的にも人類が疾走できるのは秒単位でしかないのだ。にもかかわらず生存できたのは、一つの人類集団がより弱い他の集団を捕食の対象にしたからで、地球上で発掘された人骨の多くはそれを示しているという。人類が「道具」というものを手にしてから弱肉強食の関係は劇的に変わりこの地球上で人類は強者となったが、お互いに殺し合うことを止めるどころか、より強い「道具」を発明して大規模な殺戮を行い続け、今や地球上の生物を何十回でも殺滅できる「核兵器」に囲まれた世界をつくりあげてきた。

私はいつの日か人類がこのツケを払わなければならない時を迎えると思う一方で、ここで発達した頭脳がこれを防ぐ教習を生み出すところに一縷の望みを抱いている。さもなければ「万物の霊長」などという資格は無く、むしろ「諸悪の根源」というべきであろう。

### 役員募集

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

●個人会員(1口5千円から) ●団体会員(1口5万円から)

お問い合わせ JAPAN NOW 観光情報協会

電話: 03-5989-0942 FAX: 03-5989-0903

## NEW SPOT in Japan 57

### 富士世界遺産産

山梨県立富士山世界遺産センターが6月22日富士山湖湖畔にオープンした。3年前の同日、世界遺産登録が決まった記念日に開館を合わせた。約1万年前から現在まで富士の歴史を伝え、遺産登録の歩みを経る広報と研究の機関だ。自然と信仰と人びとの関わりについて映像を駆使した立体展示で感じ、4つのエリア ①世界遺産 ②信仰対象・芸術の源泉 ③富士山世界の体感 ④富士山の未来、に系統立てて学ぶ。

館内中央の「富嶽三六〇」は和紙素材の富士山を360度全方位から見られる巨大な立体映像で1日の時間の流れや季節の移り変わりに様々な表情を見せる蜜蜂の姿を照明効果で演出再現する。富嶽の映像は2階の円形の回廊から眺め1周すると富士山腹の御中道(おちゅうどう)を歩き回った気分だ。回廊を下りて1階フロアに山頂を中心に直径21.5kmの大きな地図が広がり、祈りながら頂上を目指す登拝(とくい)ルートを示し、遠くから仰ぎ見る選擇(ようはい)所も設けた。下から見ると立体映像の裏側もスクリーンになって富士の内部に身を置く「胎内ビジョン」のイメージで女神伝説や信仰の映像・絵画などを展開する。展示最後の呼び物「富士(ふじ)北麓(はくろく)参詣



館内中央を占める「富嶽三六〇」の巨大な立体映像

(さんけい)曼荼羅(まんだら)」は現代日本画家・山口晃が開館に際し山梨側から見た姿を描いた。

センターまで富士急河口湖駅からバス1日10往復。高速バスだと富士急ハランドバス停下車徒歩5分。休館は毎月第4火曜。センターを拠点に青木ヶ原樹海、富士花鳥園、白糸の滝など富士五湖周辺の見どころは多い。富士山の自然や景観を守るため開発や登山者数の制限に向けた保全の取り組みが、この7月ユネスコに評価された。世界遺産富士山の環境保護と観光の相互連携が急務だ。センターには来場者が保全の意見やアイデアなどを投稿し展示アピールするコーナーもある。

文・写真 林 莊祐